

三中図書館だより



令和4年度 No. 12
3月10日 図書文化委員会
学校司書 発行

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。昨年4月に久しぶりに会ったみなさんは、とっても凛々しく成長していました。そして、1年間でいろんなジャンルの本を読み、感想を書いてくれました。その感想を読み、返事を書くことで、その時みなさんが感じていることを共有し、つながることができたと思っています。これからの人生で、自分の手元に置いておきたい本に出会えることを願っています。市民図書館など、町でみかけたら、ぜひ声をかけてください。

つながる読書



1位 7,169 ページ
3年 権元 沙耶さん

順位ページ数

2位 6,497	2年 知家 日菜乃さん
3位 5,770	3年 谷内 未華子さん
4位 5,762	3年 松井 菜乃華さん
5位 5,361	2年 前 結音さん

読書ページ総数 **70,856 ページ** ~ 3/9

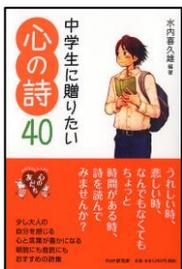


みなさんに贈りたい本



3月は、お世話になった方や旅立つ人へ贈り物をする機会が多いと思います。私からは、みなさんへのエールを込めて本を贈りたいなと思い、選びました。読んだり、贈り物の参考にしてもらえたりしたらうれしいです!

『中学生へ贈りたい心の詩40』



詩を読んでみませんか。詩は短いものが多いので、活字が苦手でも、時間がなくても1編だけでも読めるのがいいところ。

かなしい時、さみしい時、つかれたとき、毎日が嫌になったり、投げ出したいと思ったりすることがあっても、1編の詩との出会いが心を支えてくれることが、きっとあります。

『君を読む』



恋をしたときにだれもが感じる、あたたかい気持ち、楽しい気持ち、切ない気持ち、苦しい気持ち、優しい気持ちを、小さな言葉の中に詰め込みました。身近な人がもっと愛しくなる、また恋がしたくなる、大好きな人の顔が浮かぶ……

あなたの心を熱くする、恋の教科書です。

『お探し物は図書室まで』



本の相談をすると司書さんは、レファレンスを始めます。話を聞いたあと、「どうしてこの本なんだろう?」という一風変わった選書をしてくれ、「本の付録」と言って羊毛フェルトをくれます。この羊毛フェルトにも意味があるのです。

伏線回収も出来る物語で、読み応えがありますよ!



『青春の本棚』



「本でも読もうかな」、でも、特に読みたい本があるわけでもないし……となった時に開いてみてください。

「心に寄り添う」「未知の扉を開ける」「中高生が選んだ本」など自分のその時の心情に合わせた本を教えてください。